

注3

大学番号：003

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

千歳科学技術大学 理工学部 情報システム工学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人千歳科学技術大学
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	企画総務課
職名・氏名	キカクコウホウカカリチョウ ヨシダ シンゴ 企画広報係長 吉田 慎吾
電話番号	0123-27-6001
（夜間）	同上
F A X	0123-27-6007
e-mail	kikakusoumu@photon.chitose.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学部

<情報システム工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22
8. 添付資料	「千歳科学技術大学FD委員会要綱」

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人千歳科学技術大学

(2) 大学名

千歳科学技術大学

(3) 大学の位置

〒066-8655
北海道千歳市美々758番地65

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イザワ タツオ) 伊澤 達夫 (平成25年11月)		
学長	(カワセ マサアキ) 川瀬 正明 (平成22年4月)		
学部長	(カワベ ユタカ) 川辺 豊 (平成25年11月)	(ヤマナカ アキオ) 山中 明生 (平成28年4月)	任期満了による変更 (28)
応用化学生物 学科長	(オラフ カートハウス) Olaf Karthaus (平成22年4月)		
電子光工 学科長	(ヤマナカ アキオ) 山中 明生 (平成24年4月)	(フクダ マコト) 福田 誠 (平成28年4月)	平成28年4月就任 (28)
情報システム工 学科長	(ヤマバヤシ ヨシアキ) 山林 由明 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 情報システム工学科 学士(理工)	理学関係 工学関係	4年	80人	- 年次人	320人	本学では第1年次は学部で收容し, 2年次に学科(3学科)に移行する。

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	80人 (-) []	- (-) []	80人 (-) []	- (-) []	0.85倍	入学時は学部で募集を行い, 2年次に学科(3学科)に移行するため, 左記の志願者数・受験者数・合格者数・入学者数は学部合計のもの。 入学定員超過率は, 入学者数を3学科で按分したものを調査対象学科学科の入学定員で除したものの。 平成29年度入試の編入学1名は2年次編入。
志願者数	() []	() []	() []	() []	513 (-) []	- (-) []	539 (-) []	- (-) []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	504 (-) []	- (-) []	536 (-) []	- (-) []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	470 (-) []	- (-) []	495 (-) []	- (-) []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	197 (-) []	- (-) []	212 (-) []	- (-) []		
入学定員超過率 B/A					0.82		0.88			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	66 [-] (-)	[] ()	71 [-]	[]	<p>本学では第1年次は学部で収容し、2年次に学科に移行するため、入学者数は学部での入学者数を3学科で按分したものの。</p> <p>※本学では学科の移行が2年次のため、()内は1年次留年者を3学科で按分したものの。</p>
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	80 [-] ※(1)	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	66 [-] (-)	[] ()	151 [-] ※(1)	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	197 人	7 人	平成28年度	7 人	0 人	修学意欲の低下、進路変更(就職)	3.55 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	212 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	409 人	7 人					1.71 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

外国語科目	英語 1 A	1前	1			1	1				
	英語 2 A	1後	1			1	1				
	英語基礎 1	1前		1		1					
	英語基礎 2	1後		1		1					
	英語 1 B	1前		1					兼1		
	英語 2 B	1後		1					兼1		
	英語中級 1 A	2・3前		2		1				兼1	
	英語中級 1 B	2・3前		2						兼1	
	英語中級 1 C	2・3前		2				1			
	英語中級 1 D	2・3前		2			1			兼1	兼任教員が就任を辞退したことにより、専任の准教授へ担当者を変更
	英語中級 2 A	2・3後		2		1					
	英語中級 2 B	2・3後		2						兼1	
	英語中級 2 C	2・3後		2				1			
	英語中級 2 D	2・3後		2			1			兼1	兼任教員が就任を辞退したことにより、専任の准教授へ担当者を変更
	英語上級 1 A	3・4前		2						兼1	
	英語上級 1 B	3・4前		2				1			
	英語上級 1 C	3・4前		2						兼1	
	英語上級 2 A	3・4後		2				1			
	英語上級 2 B	3・4後		2						兼1	
	認定英語 1	1・2・3・4前・後		2						兼1	
	認定英語 2	1・2・3・4前・後		2						兼1	
	認定英語 3	1・2・3・4前・後		2						兼1	
	中国語 1	2前		2						兼1	
中国語 2	2後		1						兼1		
中国語 3	3前		1						兼1		
技術中国語 1	3後		1						兼1		
技術中国語 2	4前		1						兼1		
ドイツ語	2前		2						兼1		
フランス語	2前		2						兼1		
体育科目	スポーツ総合 1	1前		1						兼2	
	スポーツ総合 2	1後		1						兼2	
	健康科学	1前		1						兼1	
専門必修科目	Cプログラミング	2前	2			1	1	+			担当予定教員（助教）1名が任期満了により退職したことによる教員数1名減
	フーリエ基礎	2前	2			1					担当者の見直し及び教育効果を考慮し、当初担当を予定していた教授から別の教授1名へ担当者を変更
	離散数学	2前	2			1				兼1	担当者の見直し及び教育効果を考慮し、当初担当を予定していた教授から別の教授1名へ担当者を変更
	情報処理システム論	2前	2			1					担当者の見直し及び教育効果を考慮し、当初担当を予定していた教授から別の教授1名へ担当者を変更
	統計学基礎	2後	2				1			1	担当者の見直し及び教育効果を考慮し、助教1名を追加
	Javaプログラミング	2後	2			1		+			担当予定教員（助教）1名が任期満了により退職したことによる教員数1名減
	情報通信システム概論	2後	2			1		1			オムパス
	電子回路	2後	2			1					担当者の見直し及び教育効果を考慮し、教授1名を追加
	電子回路実習	2後	1			+					
	情報処理プロジェクト	2後	2			1				1	担当予定教員（助教）1名が任期満了により退職したことによる教員数1名減
アルゴリズムとプログラミング	2後	2			1				2		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
31	100	0	131	31	100	0	131	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

該当なし

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

該当なし

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

該当なし

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{131} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	182,492㎡	0㎡	0㎡	182,492㎡			
	運動場用地	91,736㎡	0㎡	0㎡	91,736㎡			
	小 計	274,228㎡	0㎡	0㎡	274,228㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	274,228㎡	0㎡	0㎡	274,228㎡			
(2) 校 舎	専 用	20,996㎡	0㎡	0㎡	20,996㎡			
	(20,996㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(20,996㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	学科での算出が不能のため学部合計		
	15室	0室	49室	5室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	理工学部 情報システム工学科		13 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科単位での算出が不能のため学部合計 〈図書、学術雑誌、視聴覚資料〉 教育研究分野等資料購入による増加(29) 〈電子ジャーナル〉一部サービス提供終了のため減少(29)
		冊	種	種				
	大学全体	47,213 [13,862] (44,119 [13,828]) (42,571 [13,277]) (42,413 [13,302])	255 [125] (278 [126]) (252 [118]) (246 [118])	1,026 [592] (99 [95]) (663 [92]) (978 [549])	1,809 (1,819) (1,800) (1,749)	12087 12056 (11,960) (12,087) (12,056)	289 (289)	
	計	47,213 [13,862] (44,119 [13,828]) (42,571 [13,277]) (42,413 [13,302])	255 [125] (278 [126]) (252 [118]) (246 [118])	1,026 [592] (99 [95]) (663 [92]) (978 [549])	1,809 (1,819) (1,800) (1,749)	12087 12056 (11,960) (12,087) (12,056)	289 (289)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		学科単位での算出が不能のため学部合計	
	718㎡		147席		50,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				学科単位での算出が不能のため学部合計	
	1,422㎡		該 当 な し 該 当 な し					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学科単位での算出が不能のため学部合計 〈共同研究費、図書購入費、設備購入費〉見直しによる修正(29)
		教員1人当たり研究費等	550千円	550千円	図書購入費	15,586千円 14,541千円 17,047千円	9,927千円 10,907千円	
	共 同 研 究 費 等	46,485千円 38,599千円 76,712千円	31,200千円	設備購入費	14,256千円 13,822千円	48,927千円 89,798千円 8,530千円	8,530千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,537千円	第2年次 1,357千円	第3年次 1,357千円	第4年次 1,357千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	(フクダ マコト)		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、手数料収入、寄附金等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	千歳科学技術大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<< A C 対象学部等 >> 理工学部 応用化学生物学科 電子光工学科 情報システム工学科 グローバルシステムデザイン学科 光科学研究科 博士前期課程 光科学専攻 光科学研究科 博士後期課程 光科学専攻	4	80	—	320	学士 (理工学)	0.77	平成20年度	北海道千歳市 美々758番地65	平成27年度 学科名称変更(26) 平成27年度 学科名称変更(26) 平成28年度 開設(届出) 平成28年度 学生募集停止
	4	80	—	320	学士 (理工学)	0.77	平成20年度		
	4	80	—	320	学士 (理工学)	0.77	平成28年度		
	4	—	—	—	学士 (理工学)	—	平成20年度		
	2	20	—	40	修士 (理工学)	0.6	平成14年度		
	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.73	平成16年度		
大学の名称	該当なし								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 情報システム工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	今井 順一 (55)	平成28年4月	データサイエンス	専任	教授	村井 哲也 (57)	平成29年4月	離散数学	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更	
				離散数学							
専	教授	小松川 浩 (49)	平成28年4月	情報システムセミナー 輪講 卒業研究A 卒業研究B サービスプロジェクト 教育とコンピュータ サービス工学※ 幾何学概論	専任	教授	村井 哲也 (57)	平成29年4月	情報処理システム論	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更	
				情報技術概論 Cプログラミング					情報処理システム論		
専	教授	曾我 聡起 (58)	平成28年4月	情報処理システム論	専任	教授	村井 哲也 (57)	平成29年4月	情報処理システム論	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更	
				情報学基礎演習※ 情報システムセミナー 輪講 卒業研究A 卒業研究B サービスプロジェクト ユーザーインターフェース※ サービス工学※ ハードウェア設計プロジェクト							
専	教授	長谷川 誠 (52)	平成28年4月	熱力学	兼任	教授	長谷川 誠 (53)	平成29年4月	熱力学	平成29年4月 長谷川 誠 教授 所属学科変更 当該教員の専門分野等を見直し、所属学科を変更したが、当該科目は兼任教員として担当する。	
				ハードウェア設計プロジェクト							平成29年4月 長谷川 誠 教授 所属学科変更 当該教員の専門分野等を見直し、所属学科を変更した ことにより、当該科目は担 当から除かれる事となった が、他に担当教員が複数い るため、支障はない。
				企業リテラシ							平成29年4月 長谷川 誠 教授 所属学科変更 当該教員の専門分野等を見 直し、所属学科を変更した が、当該科目は兼任教員と して担当する。
				システムデザインプロジェクト							平成29年4月 長谷川 誠 教授 所属学科変更 当該教員の専門分野等を見 直し、所属学科を変更した ことにより、当該科目は担 当から除かれる事となった が、他に担当教員が複数い るため、支障はない。
				フォトリクスシステム							平成29年4月 長谷川 誠 教授 所属学科変更 当該教員の専門分野等を見 直し、所属学科を変更した ことにより、当該科目は担 当から除かれる事となった が、他に担当教員が複数い るため、支障はない。

専	教授 (学科長)	山林 由明 (59)	平成28年 4月	フーリエ基礎 情報通信システム概論※ 電子回路	専任	教授	三澤 明 (51)	平成29年 4月	電気回路実習	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、複数教員(教授)を配置
				電子回路実習 システムデザインプロジェクト コンピュータネットワーク※ 情報システムセミナー 輪講 卒業研究A 卒業研究B 情報通信理論 フォトニクスシステム ハードウェアシステムプロジェクト 情報通信ネットワーク工学 センサネットワーク						
専	教授	吉田 淳一 (67)	平成28年 4月	情報処理プロジェクト システムデザインプロジェクト フォトニクスシステム ハードウェアシステムプロジェクト						
専	准教授	小川 正浩 (52)	平成28年 4月	英語 1 A 英語 2 A 英語基礎 1 英語基礎 2 英語中級 1 A 英語中級 2 A						
専	准教授	小林 大二 (47)	平成28年 4月	人間情報科学	専任	教授	曾我 聡起 (59)	平成29年 4月	人間情報科学	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更
				統計学基礎 サービス科学 情報システムセミナー 輪講 卒業研究A 卒業研究B ユーザビリティ工学 統計解析 サービスプロジェクト 感性工学 サービス工学※						
専	講師	石田 雪也 (41)	平成28年 4月	情報学基礎演習※ インフォマティクス基礎※ キャリア形成 A 1 キャリア形成 A 2 キャリア形成 B 1 キャリア形成 B 2 システムデザインプロジェクト インターンシップ ICTリユースプロジェクト 人間コミュニケーション論 情報と職業						
専	講師	Randy L. Evans (54)	平成28年 4月	英語 1 A 英語 2 A 英語中級 1 C 英語中級 2 C 英語上級 1 B 英語上級 2 A サービスプロジェクト						
専	講師	深町 賢一 (47)	平成28年 4月	Cプログラミング 情報通信システム概論※ コンピュータネットワーク※ ソフトウェア工学概論※ 情報システムセミナー 輪講 卒業研究A 卒業研究B 情報セキュリティ オペレーティングシステム ハードウェアシステムプロジェクト						
専	助教	林 康弘 (37)	平成28年 4月	情報技術概論 Cプログラミング Javaプログラミング 情報処理プロジェクト ソフトウェア工学概論※ ICTリユースプロジェクト			後任未定			平成28年3月 林 康弘助教 就任辞退 情報技術概論、Cプログラミング、Javaプログラミング、情報処理プロジェクト、ソフトウェア工学概論、ICTリユースプロジェクトは他に担当教員が複数いるため、支障はない。
専	助教	山川 広人 (35)	平成28年 4月	インフォマティクス基礎※ 情報処理プロジェクト ソフトウェア工学概論※ モバイルコンピューティング webシステムプログラミング ICTリユースプロジェクト ソフトウェアデザイン						平成29年4月 山川 広人 助教 科目担当者の見直しにより、当該科目の担当から除く事としたが、他に担当教員がいるため、支障はない。

兼担	教授	王 建康 (61)	平成28年9月	宗教と科学技術 中国語1 中国語2 中国語3						
兼担	教授	小田 尚樹 (47)	平成29年4月	コンピュータ技術						
兼担	教授	Olaf Karthaus (55)	平成30年4月	英語上級1C 英語上級2B						
兼担	教授	唐澤 直樹 (55)	平成28年9月	数学B						
兼担	教授	川瀬 正明 (68)	平成28年4月	サイエンス基礎						
兼担	教授	川辺 豊 (57)	平成28年9月	テクノロジー基礎						
兼担	教授	谷尾 宣久 (54)	平成28年4月	化学入門	兼担 准教授	高田 知哉 (44)	平成29年4月	化学入門	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更	
				化学基礎	兼担 准教授	高田 知哉 (44)	平成29年4月	化学基礎	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更	
兼担	教授	福田 誠 (52)	平成28年4月	物理学入門 理工学基礎実験 力学						
				初歩の物理学	兼担 准教授	梅村 信弘 (48)	平成28年4月	初歩の物理学	教育効果を考慮し、担当者の変更及び複数配置	
					兼任 講師	原田 雅之 (61)	平成28年4月	初歩の物理学	教育効果を考慮し、担当者の変更及び複数配置	
兼担	教授	安田 富久一 (63)	平成28年4月	数学A 数学C						
				離散数学	専任 教授	村井 哲也 (57)	平成29年4月	離散数学	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更	
				線形代数I	専任 教授	三澤 明 (51)	平成29年4月	線形代数I	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更	
				代数学概論	専任 教授	村井 哲也 (57)	平成29年4月	代数学概論	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更	
				線形代数II	専任 教授	三澤 明 (51)	平成29年4月	線形代数II	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更	
兼担	教授	山中 明生 (60)	平成28年4月	エレクトロニクス入門 エレクトロニクス基礎						
				基礎フーリエ数学	専任 教授	山林 由明 (60)	平成29年4月	基礎フーリエ数学	科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、担当者変更	
				複素関数と特殊関数 フーリエ応用						
兼担	准教授	青木 広宙 (45)	平成30年4月	デジタル信号処理 数値計算概論						
兼担	准教授	坂井 賢一 (46)	平成28年4月	生物学入門	兼担 教授	木村 廣美 (52)	平成28年4月	生物学入門	教育効果を考慮し、オムニバス形式に変更、それに伴い担当者を追加	
					兼担 教授	李 黎明 (62)	平成28年4月	生物学入門		
					兼担 教授	大越 研人 (50)	平成28年4月	生物学入門		
					兼担 准教授	高田 知哉 (43)	平成28年4月	生物学入門		
					兼担 講師	平井 悠司 (32)	平成28年4月	生物学入門		
					兼任 講師	下澤 橋夫 (72)	平成28年4月	生物学入門		
兼担	准教授	張 公儉 (61)	平成30年9月	技術中国語1 技術中国語2						
兼担	講師	金井 彩香 (38)	平成28年4月	英語1B 英語2B 英語中級1B 英語中級2B 英語上級1A 認定英語1 認定英語2 認定英語3						
兼任	講師	合川 正幸 (43)	平成30年4月	データベース工学						
兼任	講師	有賀 啓之 (50)	平成30年9月	ユーザインターフェース※						
兼任	講師	井上 貴翔 (35)	平成29年9月	文章技法1 文章技法2	兼任 講師	寺山 千紗都 (31)	平成29年9月	文章技法1 文章技法2	平成28年3月 井上 貴翔講師就任辞退により平成29年9月から担当者を変更	

兼任	講師	井上 敬介 (38)	平成28年9月	北海道の歴史	兼任	講師	渡部 斉 (58)	平成28年9月	北海道の歴史	平成28年3月 井上 敬介講師就任辞退により平成28年9月から担当者を変更
兼任	講師	岩本 一郎 (51)	平成28年9月	日本国憲法						
兼任	講師	浦田 政則 (68)	平成28年4月	数学基礎						
兼任	講師	大塚 晴之 (57)	平成30年4月	経営学						
兼任	講師	大場 崇代 (62)	平成28年9月	くらしと政治						
兼任	講師	岡部 成玄 (68)	平成29年4月	コンピュータと言語処理 情報セキュリティ						
兼任	講師	亀井 伸照 (63)	平成28年4月	スポーツ総合1 スポーツ総合2 健康科学						
兼任	講師	今野 靖政 (71)	平成28年4月	スポーツ総合1 スポーツ総合2						
兼任	講師	白樫 久 (76)	平成28年9月	人と社会						
兼任	講師	高野 真理子 (39)	平成29年4月	フランス語						
兼任	講師	高橋 晴人 (69)	平成29年4月	くらしと法律						
兼任	講師	田代 早矢人 (48)	平成29年9月	文章技法1 文章技法2						
兼任	講師	中嶋 輝明 (48)	平成28年9月	心理学入門						
兼任	講師	中村 容子 (58)	平成29年4月	英語中級1 D	専任	准教授	小川 正浩 (53)	平成29年 4月	英語中級1 D	平成29年3月 中村容子講師就任辞退により平成29年4月から担当者を変更
				英語中級2 D	専任	准教授	小川 正浩 (53)	平成29年 4月	英語中級2 D	平成29年3月 中村容子講師就任辞退により平成29年4月から担当者を変更
兼任	講師	行木 孝夫 (51)	平成31年4月	幾何学 I						
兼任	講師	野村 恭史 (48)	平成29年4月	論理学入門						
兼任	講師	藤本 直樹 (51)	平成29年4月	現代の社会経済						
兼任	講師	三浦 洋 (56)	平成29年4月	哲学と世界 倫理と人間						
兼任	講師	森本 琢 (42)	平成29年4月	心の科学						
兼任	講師	安高 誠吾 (73)	平成29年4月	ドイツ語						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお,設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は,「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由,変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	2	3	2	12	7	2	3	1	13	6	2	3	1	12
(7)	(2)	(3)	(1)	(13)						[1]	[]	[]	[Δ1]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

該当なし

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (27)				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (29)				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (27)				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (29)				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

該当なし

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学部 情報システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 千歳科学技術大学FD委員会要綱に基づくFD委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 原則として、8月を除く毎月開催している。(年間11回開催) 構成員 教員11名、事務職員2名</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業内容の改善に関する事、教育環境の改善に関する事、教員の研修実施に関する事</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケートの実施 (春学期及び秋学期の中間及び期末に実施) ・ 授業改善に資する外部講師による講演の実施 (7ヶ月間、反転学修の先進事例紹介) ・ 教員相互の授業参観 ・ 質保証マップの作成、ルーブリックを活用した評価について検討を実施 <p>b 実施方法 FD委員会にて、実施内容を企画・検討し、全教員に参加を促し実施している。</p> <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>① 授業公開 (春学期60名、秋学期61名)、② 外部講師講演 (反転学修25名、7ヶ月間 31名、英語プレゼンテーション14名、発達障がい等の対応28名)</p> <p>③ 授業評価アンケート (72名) ※担当授業のない助手1名を除く全教員 (非常勤教員32名も含む)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 授業公開の際に他の教員から得られた助言や改善案をFD委員会を通じて、各教員にフィードバックし改善を促している。また、シラバスの組織的な点検・確認の継続実施や各教員による授業資料作成の工夫を促し、改善を行っている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 春学期、秋学期の7週～8週目に中間授業評価を行い、春学期末の7月及び秋学期末の12～1月に期末授業評価アンケートを実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員に対しては、個別にフィードバックしている。また、学生に対しては結果を学内のオープンスペースに設置された掲示版により周知している他、図書館にも結果を取りまとめた冊子を設置するなどして公開している。</p> <p>(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)</p>
--

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

情報システム工学科では、高度なICT技術革新に対応可能な、かつユーザである人間社会の「すべてのシーン」で真に役立つものとするために、情報通信、情報処理、情報活用の3つの要素を学習することにより一層情報系の理論と技術に精通して、利用の許されたモノや個人からのデータを縦横に活用しつつも「穴のない」サービスやシステムを開発・運用できる人材の育成を目的としている。また、セキュリティまでカバーする形での情報技術のみならず、データの活用のための統計処理や人間関係の諸工学に精通した人材を社会に輩出することを主な目的としている。

今年度は、情報システム工学科の新カリキュラムの専門教育科目が開講となる。
それにあたり、学科教員によるFD活動、学科の学生の状況の共有を毎月定例の学科会議内で積極的に行う予定である。また、各科目においてもグループワーク、反転学修といったアクティブラーニングを積極的に活用し、知識だけでなく、主体性や協働性を養うことで、上記目的の達成に努める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年4月4日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員に配布予定
・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、認定された

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 6月 1日予定)